

事業名 : ハチ北高原ひまわり祭り

団体名 : 一般社団法人ハチ北高原自然協会

1 事業内容

日時 7月21日～11月30日

場所 ハチ北高原～ウェストヴィレッジ周辺

内容 休耕田を活用したひまわり栽培と村人交流の「ひまわり祭り」

【事業経過】

月日	実施内容	場所	参加人数
7月30日	チケット配布準備作業	ウェストヴィレッジ	6名
7月31日	ひまわり畑・会場周辺草刈り	ウェストヴィレッジ周辺	6名
7月31日	備品作成	ハチ北会館1階	1名
8月2日	イベント資料作成	ハチ北会館1階	1名
8月3日	イベント追加資料作成	ハチ北会館1階	1名
8月3日	イベント保険手続き	たじま農協村岡支店	1名
8月4日	ひまわり祭り前日準備	ウェストヴィレッジ周辺	8名
8月5日	ひまわり祭り当日	ウェストヴィレッジ周辺	50名
9月12日	観光協会常任理事会	ハチ北会館2階	6名
9月19日	観光協会理事会	ハチ北会館2階	12名
9月5日～ 10月10日	ひまわり刈取り、種取種乾燥	ウェストヴィレッジ周辺	1名
10月13日	反省会日程内容打ち合わせ	ウェストヴィレッジ	3名
11月9日	畑の片付け、全体的な片付け	ウェストヴィレッジ周辺	6名
11月12日	反省会	U-BASE	13名

2 事業の効果

(1) 団体（組織）内の効果

ひまわり祭りの実施日程が変更した事で近隣イベント等と重なり予想より少ない参加であった様でした。

また担当者が体調を崩したり副担当者が不在だったりして当日のスタッフが忙しくなりました。

送迎車利用は予想より少なく、駐車場までは自家用車での来場がほとんどでした。

イベント前半は来場者が非常に少なく、イベント内容の順番を変更したりしました。

昼食時位からの後半で、地元の方も農作業等を終わらせて子供連れで参加する組が増えて、イベントらしい賑わいを見せていました。

協働である大笹区のご協力による食事券が効を奏し、出店の方々も忙しくしており、演奏も皆楽しそうでした。

特に子供達のプチモルック大会への関心が高く、ある子供はずっと練習を楽しんでいました。

計画していたお年寄りとお年寄りの交流もよい形で行えたと思います。

ハチ北観光協会のイベントは宿泊に繋がるものに拘っていましたが、今回のイベントを行い、宿泊は勿論ですが、内容によっては日帰り等の外部のお客様へもイベント告知を行い、たくさんの人が寄れるイベントであると思いました。

(2) 地域への波及

この地域で行われている「ハチ北音楽フェス」というイベントがあるのですが、実行委員会を中心としたたくさんのスタッフにより、準備・運営を重ねております。今回の様な小さなイベントでも、演者、参加者が楽しめる空間作りを示した良い見本になったのではと思います。

3 協働の相手方

村の区役員である『大笹区』による食事券提供。このような参加者に対する特典を協力頂けたので沢山の村人が集ったと思います。

代表の区長もイベントに参加されており、時間調整の為、『紙芝居』をして下さいました。

4 今後の課題等

(1) 団体（組織）活動を継続するための工夫等

今回、事業開始前の活動で畑の維持に対する協力者が少なく、いつも決まった人員で行う事が多くそれぞれの負担が強まっており、来年度はひまわりプロジェクト、ひまわり祭りの実施が難しい様に思えます。ただし、今回イベントに参加した演者の方々がとても楽しかった様で、音楽を中心とした別のイベントとして、今回の場所を使用したイベント展開があるかもしれません。

(2) 地域活動を拡大していくための工夫等

スキー場と共に栄えて行った村であり、観光協会ではありますが、それぞれの営業者、農業者の高齢化が進んでおります。しかし若い方々も都会から帰って来たり、都会からこの村が好きで移住してきている人もいます。

観光協会としても、そういう方々と意見を交わしながら代表理事を中心とした魅力あるイベントの発信が必要かと思えます。また月に一回に『ハチ北未来会議』と題して、協会員の皆様と意見を述べて地元ハチ北の魅力の発掘に取り組んでいます。

また他地域で活躍している地への研修旅行を毎年春に行っています。



5年8月5日 ひまわり畑をバックに演者の皆さん



5年8月5日 紙芝居を披露



5年8月5日 出店で頑張る村民の人たち



5年8月5日 プチモルック大会